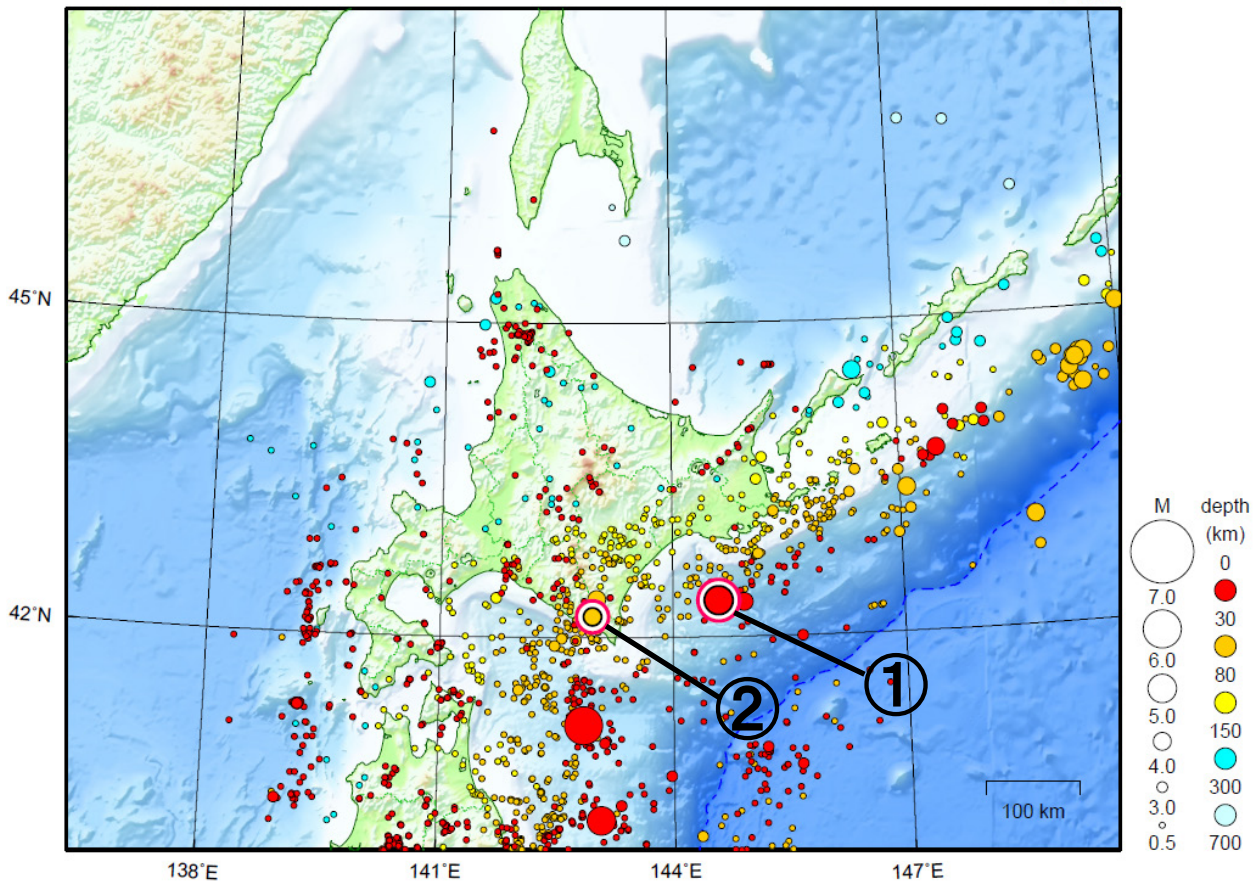


北海道地方

2023/03/01 00:00 ~ 2023/03/31 24:00

N=1690



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

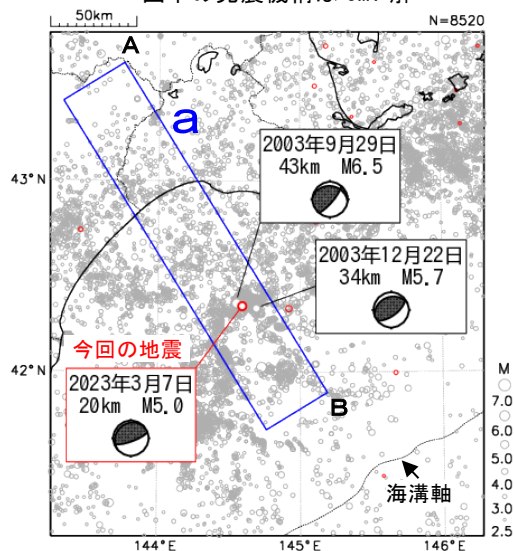
- ① 3月7日に釧路沖で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 3月11日に日高地方東部で M4.8 の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

3月7日 釧路沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2023年3月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

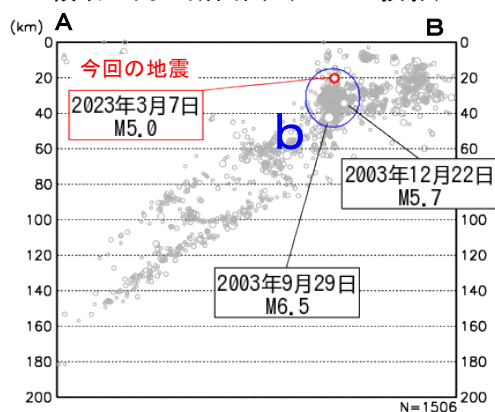


2023年3月7日07時24分に釧路沖の深さ20kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

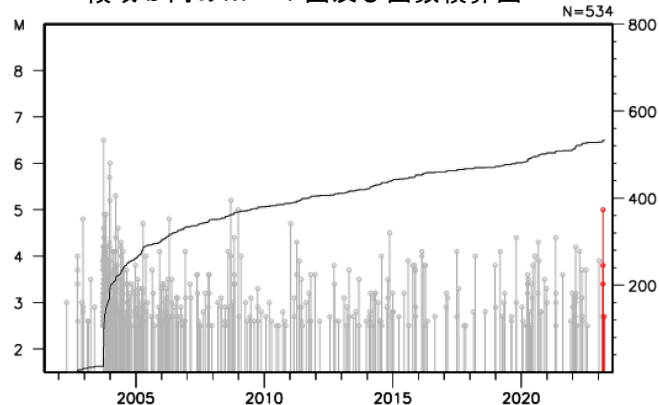
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5$ 程度の地震が時々発生しており、2003年9月29日には $M 6.5$ の地震（最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年（2003年）十勝沖地震」（ $M 8.0$ 、最大震度6弱）では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国の太平洋沿岸を中心に津波を観測した。この地震により、行方不明者2人、負傷者849人、住家被害2,073棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

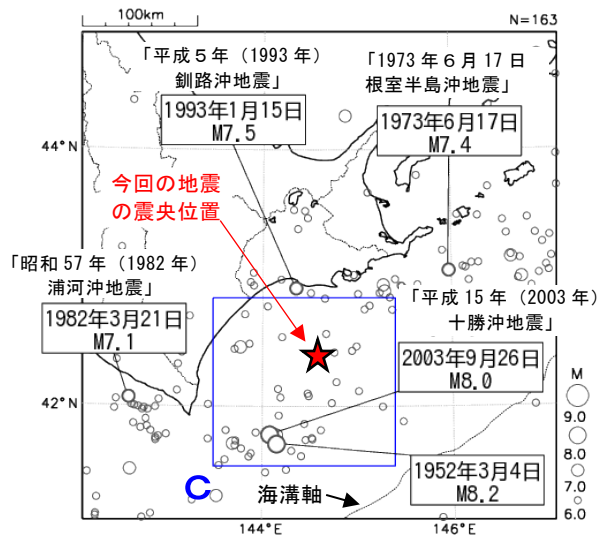
領域a内の断面図（A-B投影）



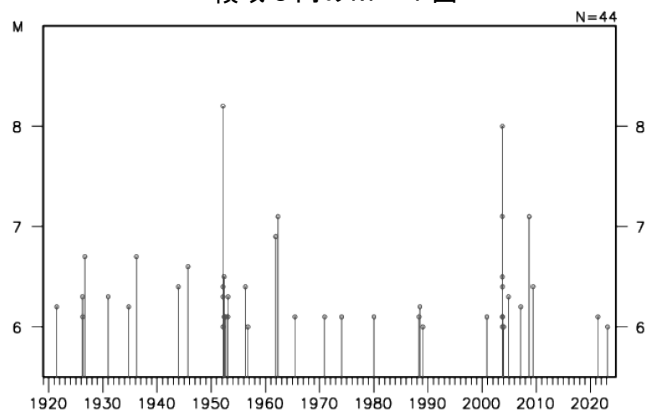
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



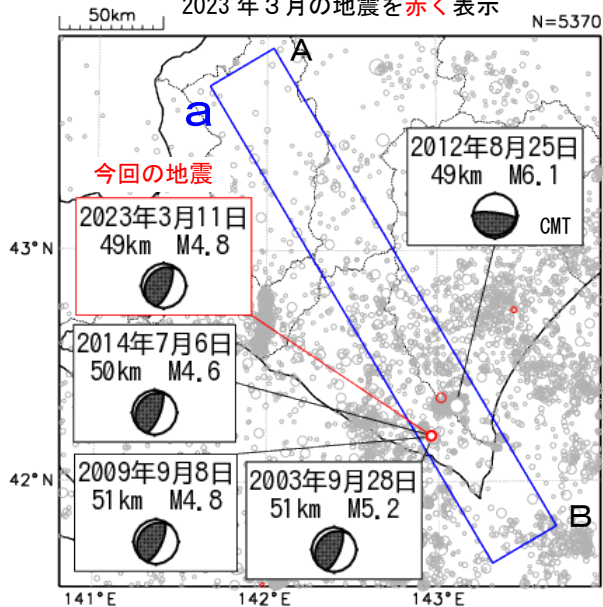
気象庁作成

3月11日 日高地方東部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)

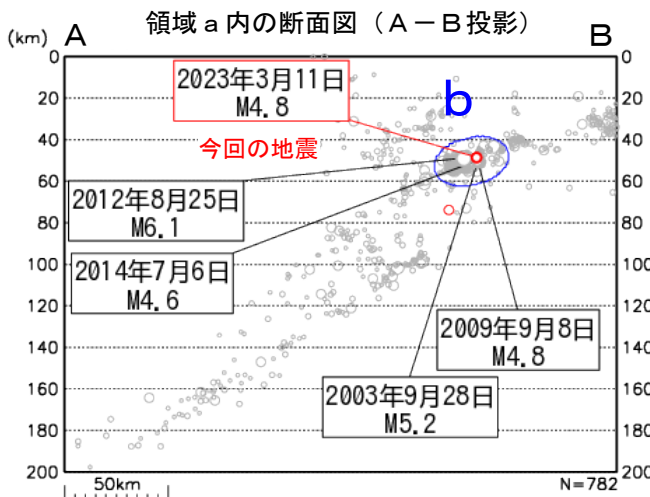
2023年3月の地震を赤く表示



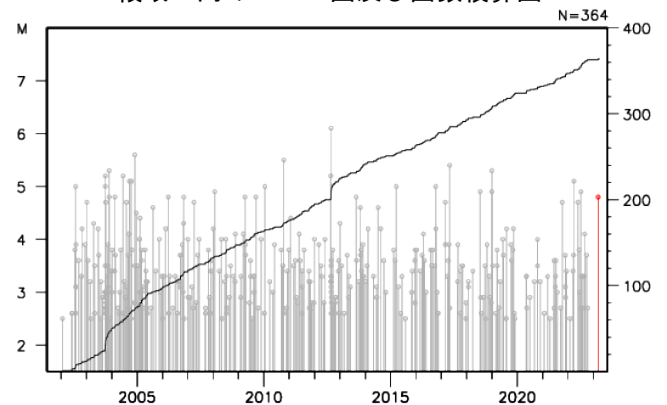
2023年3月11日05時12分に日高地方東部の深さ49kmで $M4.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M5$ 程度の地震がしばしば発生しており、2012年8月25日には $M6.1$ の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1982年3月21日には「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 ($M7.1$ 、最大震度6) が発生し、負傷者167人、住家全半壊25棟などの被害を生じた (「日本被害地震総覧」による) ほか、浦河で高さ78cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

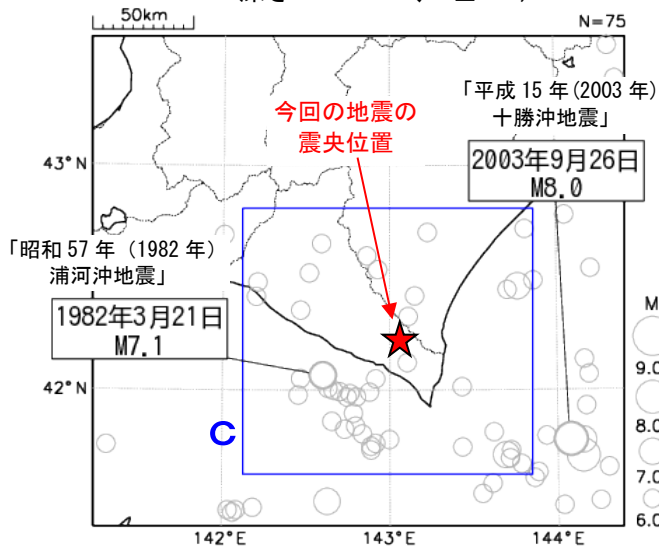


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

